

地域防災拠点Dig訓練

～地域防災拠点の開設・運営(基本編)～

令和2年8月 指導員養成訓練
金沢区役所総務課

1

【 目的 】

- ① 大地震発生から24時間後までを疑似体験し、拠点の開設・運営手順の基本事項を確認する。
- ② 運営面での課題や、日頃から何を準備しておくべきかを共有する。
- ③ 本日の訓練を拠点で再度実施し、共有者を増やす。

2

【訓練の実施方法】

- ① スライドを見ながら、発災後の状況の変化を確認します。
- ② 設問には、まず各自で解答を考え、その後、各班で意見交換します。
- ③ 解答は、地域の実情により異なるため、正解は1つとは限りません。

【地震の発生】

- ◇ 1月×日(金) 午後6時30分
- ◇ 相模トラフを震源とする地震が発生
- ◇ マグニチュード7.9、震度6強



午後 6:30 (大地震発生)

- 運営委員のあなたと家族は無事。
- 自宅は窓が割れたが、建物は無事。
- 各部屋では家具が倒れ、物が散乱。
- 停電により、町内は真っ暗。
- ラジオによると、横浜市は震度6強を観測したとのこと。

5

午後 6:40

- 自宅の外に出ると、砂ぼこりが上がっており、近隣の古い木造家屋は、何棟も倒壊しています。
- いったん避難場所には、住民が集まり始めています。



(設問1)

このあとどのような行動をしますか？

6

午後 7:00

- 地域防災拠点に行くと、学校職員が3人、運営委員長と運営委員が数人いました。
- 拠点に集まった方々の地区では、古い木造家屋が倒壊しているとのこと。
- これらの状況と震度6強であることから、早急に拠点を開設することで意見が一致しました。

(設問2)

防災拠点の開設決定に際して

まずは、何をしますか？⁷

午後 7:30 (発災後1h経過)

- 施設点検を実施。体育館と備蓄庫は被害なし。
- 停電
- トイレの便器は壊れていませんが、水が流れるかどうか不明です。

(設問3)

避難者を受け入れるため、何をしますか？

午後 8:00

- 多数の住民が避難してきたので、避難者カードを手渡して、記入してもらっています。



- 運営委員と避難者により、体育館のスペースの区割りをすることにしました。

(設問4) どのように区割りしますか？

午後 8:30 (発災後2h経過)

- 避難者カードの集計が終わり、避難者計200人の体育館への受け入れが完了しました。
- デジタル移動無線による拠点と区役所との通話は、可能でした。

(設問5)

今後の避難生活に必要な物品は何でしょう？

午後 10:30（発災後4h経過）

- 避難者の過半数は、女性と高齢者。
学校の女性トイレは長蛇の列。
トイレ対策がすぐに必要と思われます。

（設問6）

どのような対策をしますか？

11

午後 11:30（発災後5h経過）

- 東京近郊に勤務する住民が、徒歩で帰宅し始めました。
- 避難者は、合計1,000人に達しました。
- 学校と運営委員会で協議し、体育館には女性・高齢者を中心に約200人が入り、その他の避難者は、教室または受入可能な他拠点に移動してもらうよう調整中です。

翌日 午前 0:30 (発災後6h経過)

- 区役所に毛布を1,000枚要請しましたが、道路被害と渋滞により、配送の見込みが立ちません。
よって、住民は自宅から毛布・布団を持ち寄っています。



13

午前 5:30 (発災後11h経過)

- 配布した備蓄食料の飲食後のゴミが、体育館や教室の隅に溜まり始めました。また、使用済みトイレパックが、トイレのゴミ箱から溢れ始めました。

(設問7)

どのような対策をしますか？

午後 2:30（発災後20h経過）

- 避難者数が、学校のキャパシティを超えました。避難者の中には、余震や停電による不安から避難してきている住民も多いと思われます。
- 運営委員会は、自宅が倒壊していない方々に対して、帰宅を促しました。

15

午後 4:00

- 町内会の商店主から、食材や水などの提供がありましたので、炊き出しを始めることとしました。



- 避難者の中から食料・物資班の支援者を募り、温かい味噌汁を作って配布しました。

16

午後 6:30～（発災後24h以降）

- 運営委員会は、学校職員や市職員と協力して、周辺の被害状況を把握し、区役所に随時連絡しています。
- 毛布等の不足物資が区役所より徐々に拠点に届き始め、ようやく拠点は落ち着いてきました。
- 夜間に向けて避難者の中からパトロール班を編成し、安全を確保することにしました。

17

まとめ

- ① 地域防災拠点の運営には、運営委員会のリードと、避難者(住民)の協力が不可欠です。
運営委員会が自ら全てを行おうとせず、避難者とともに運営し、生活する。
このことを、地域の皆さまに広く理解されるよう、区役所と運営委員会で周知していくことが重要。
- ② 本日のDig訓練を各運営委員会で再度実施し、どんな課題があっても、課題解決にはどんな準備や対策が必要かを共有していただくと幸いです。